

心臓移植希望者（レシピエント）選択基準（案）

1. 適合条件

(1) ABO式血液型

ABO式血液型の一致 (identical) 及び適合 (compatible) の待機者を候補者とする。

(2) 体重 (サイズ)

体重差は-20%~30%であることが望ましい。

ただし、移植希望者（レシピエント）が小児である場合は、この限りではない。

(3) 前感作抗体

リンパ球直接交差試験（ダイレクト・クロスマッチテスト）を実施し、抗T細胞抗体が陰性であることを確認する。

パネルテストが陰性の場合、リンパ球直接交差試験（ダイレクト・クロスマッチテスト）は省略することができる。

(4) CMV抗体

CMV抗体陰性の移植希望者（レシピエント）に対しては、CMV抗体陰性の臓器提供者（ドナー）が望ましい。

(5) HLA型

当面、選択基準にしないが、必ず検査し、登録する。

(6) 虚血許容時間

臓器提供者（ドナー）の心臓を摘出してから4時間以内に血流再開することが望ましい。

2. 優先順位

適合条件に合致する移植希望者（レシピエント）が複数存在する場合には、優先順位は、以下の順に勘案して決定する。

(1) 親族

臓器の移植に関する法律第6条の2の規定に基づき、親族に対し臓器を優先的に提供する意思表示されていた場合には、当該親族を優先する。

(2) 医学的緊急度

定義：Status 1 A：次の（ア）から（エ）までの状態のいずれかに該当すること。

- （ア）補助人工心臓を装着中の状態
- （イ）大動脈内バルーンポンピング（IABP）、経皮的心肺補助装置（PCPS）又は動静脈バイパス（VAB）を装着中の状態
- （ウ）人工呼吸施行中の状態
- （エ）ICU、CCU等の重症室に収容され、かつ、カテコラミン等の強心薬の持続的な点滴投与を行っている状態
 - * カテコラミン等の強心薬にはフォスフォディエステラーゼ阻害薬なども含まれる

Status 1 B：次の（ア）の状態に該当すること。

- （ア）カテコラミン等の強心薬の持続的な点滴投与を行っている状態（ICU、CCU等の重症室に収容されている状態を除く）
 - * カテコラミン等の強心薬にはフォスフォディエステラーゼ阻害薬なども含まれる

Status 2：待機中の患者で、上記以外の状態

Status 3：Status 1、Status 2で待機中、除外条件（感染症等）を有する状態のため一時的に待機リストから削除された状態

Status 1 A、Status 1 B、Status 2の順に優先する。（3.の具体的選択方法を参照）。

また、Status 3への変更が登録された時点で、選択対象から外れる。除外条件がなくなり、Status 1 A、Status 1 B 又は Status 2へ再登録された時点から、移植希望者（レシピエント）として選択対象となる。

(3) ABO式血液型

ABO式血液型の一致 (identical) する者を適合 (compatible) する者より優先する（3.の具体的選択方法を参照）。

(4) 待機期間

以上の条件が全て同一の移植希望者（レシピエント）が複数存在する場合は、待機期間の長い者を優先する。

○Status 1 Aの移植希望者（レシピエント）間では、待機期間はStatus 1 Aの延べ日数とする。

○Status 1 Bの移植希望者（レシピエント）間では、待機期間はStatus 1 A及び Status 1 Bの延べ日数とする。

○Status 2の移植希望者（レシピエント）間では、待機期間は登録日からの延べ日数とする。

3. 具体的選択方法

(1) ネットワークがブロック化されていない場合

順位*	医学的緊急度	A B O式血液型
1	<u>Status 1 A</u>	一致
2		適合
3	<u>Status 1 B</u>	一致
4		適合
5	Status 2	一致
6		適合

* 同順位内に複数名の移植希望者（レシピエント）が存在する場合には待機期間の長い者を優先する。

(2) ネットワークが組織的にも機能的にもブロック化された場合

→ネットワークにより一元的に分配が可能であり、現時点では削除してもよいのではないか。

4. その他

将来、Status 1 Aの移植希望者（レシピエント）が増加すると、O型の臓器提供者（ドナー）からの臓器が順位2の移植希望者（レシピエント）に配分され、Status 1 Bや Status 2の移植希望者（レシピエント）に配分されない事態が生じることが予想される。この場合はブロック制の導入を含めて、選択基準の見直しをすることとする。